※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	（学）芸能入門	単位数	申請	年次	１～４年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①　技の教育力を重視し、人材バンクを活用した、プロの箏曲家を特別非常勤講師として招聘。できる限り生徒が実演可能な教材も導入し、自ら行うことも念頭に置いて授業を展開していきます。
②　実技の教育力を重視し、人材バンクを活用した、プロの落語家を特別非常勤講師として招聘。単なる「鑑賞」に終わるのではなく、地理歴史的学習が十分できるような工夫を行うように授業を展開していきます。

２　学習の到達目標

①琴・三味線・尺八の合奏（三曲）を通じて、邦楽に親しむ。また和楽器に使用される数々のテクニックを活用した自己表現を体得する。
②大阪に根強く継承される演芸、上方落語を鑑賞し、日本の演芸・芸能独特の表現方法を理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・上方の歴史・地理および文化を学ぶとともに、上方落語の体感を通して、大阪という町が培ってきた人間関係を理解している。 ・邦楽器の基礎的な演奏技術を身につけている。	・本物の古典芸能を体感するとともに、それらが上方の文化形成に与えた影響について想像力を働かせ、自らの表現力につなげることができている。 ・落語や漫才を通じて学んだ言葉の大切さや会話の重要性を活かして、自らの表現に取り入れることができている。	・自らの生まれた地域に誇りを持ち、上方芸能の学習を通じて自尊感情を高めることができている。 ・邦楽器の演奏を通じて達成感を持ち、自尊感情を高めていくことができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期のみ開講(前期は開講しない)						
10月	話芸・落語の源流 三曲合奏「三段の調べ」	落語の歴史　日本近世史における芸能史について学ぶ。 三味線・琴・尺八	a:落語を歴史の中に位置づけて理解できている。 a:自分の希望した楽器の演奏方法が理解できている。 b:日本近世史における芸能	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察

※令和４年度以降入学生用

		を一通り体験させ、自分の希望する楽器を選ばせる。	史における落語の役割について考えることができる。 c:日本近世史における芸能史の理解に意欲的に取り組んでいる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。			
11月	大阪人と笑い 大阪商人 三曲合奏「三段の調べ」	笑いの構造とその類型～大阪における笑いの真相。 近世大坂の商業組織と人々「お店」に生きる人。 楽器の基礎的な技術を身につけ、最終的には1曲が演奏できるようにする。	a:庶民生活の中に深く根付いた文化について理解できている。 b:友人と合奏に取り組むために必要な工夫について考えることができる。 c:笑いと大阪の関係の理解に意欲的に取り組んでいる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
中間考査						
12月	蝦蟇の油と大道芸人 三曲合奏「花かげ変奏曲」「東の旅」	近世における旅行の娯楽性と、落語の口裁き 合奏曲の実習。 楽器別練習 邦楽器を使用した演奏を聴く 琴により、和音階を理解する。	a:旅行の娯楽性と落語の関連、落語の口裁きについて理解している。 a:琴の基本的な奏法と和音階を理解している。 b:琴の特性と和音階の親和性について考えることができる。 c: 旅行の娯楽性と落語の関連と落語の口裁きの理解に意欲的に取り組んでいる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
	八百八橋と天神祭 室町の笑い「狂言」 狂言「柿山伏」	大坂の祭りと水都大坂	a:大阪の祭りの歴史について理解している。 b:水都大阪と呼ばれるようになった経緯や所以について考えることができる。 c:大阪の祭りの歴史の理解に意欲的に取り組んでいる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察

※令和４年度以降入学生用

1月	笑いと人権 江戸落語「時そば」 上方落語「時うどん」	能・狂言の歴史 足利義満と能楽の関係	a:能や狂言の歴史について理解している。 b:室町期に能が出現した時代背景や必然性について考えることができる。 c:能や狂言の歴史の理解に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
2月	各楽器別課題練習 琴・尺八「春の海」 三味線「野崎」	上方落語における人権感覚を学ぶ	a:上方落語における人権意識について理解している。 b:何人が来ても笑える配慮がなされていることについて、自分なりの考察を加え考えることができる。 c:上方落語における人権感覚の理解に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
期末考査						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度